

High Prevalence of Asymptomatic COVID-19 Infection in Hemodialysis Patients Detected Using Serologic Screening

Clarke C, Prendecki M, Dhutia A, Ali MA, Sajjad H, Shivakumar O, Lightstone L, Kelleher P, Pickering MC, Thomas D, Charif R, Griffith M, McAdoo SP, Willicombe M.

J Am Soc Nephrol. 2020 Jul 30. DOI: <https://doi.org/10.1681/ASN.2020060827>. Online ahead of print.

全文 PDF : <https://jasn.asnjournals.org/content/jnephrol/early/2020/07/29/ASN.2020060827.full.pdf?with-ds=yes>

血清抗体検査での血液透析患者における無症候性 COVID-19 感染の割合

透析患者において、症状の無い(無症候性の)COVID-19 感染者の割合については未だ不明な点が多い。著者らは、2020 年 4 月 27 日~5 月 7 日の間にイギリス国内の 2 つの透析施設で維持血液透析を受けている 356 人の血液透析患者を対象に、透析開始前の血清を用いて COVID-19 の抗体測定(アボット社、SARS-CoV-2 IgG 抗体アッセイを使用)を行い、その陽性割合を調査した。その結果、全体の 36.2%にあたる 129 人で血清抗体検査が陽性であった。血清抗体検査が陽性であった 129 人の血液透析患者のうち、44 人(34.1%)は無症状(PCR 検査は未実施)であり、8 人(6.2%)は発熱などの症状はあっても PCR 検査は陰性であった。残り 77 人(59.7%)は両検査とも陽性であった。

これらの結果は、有症状の血液透析患者のみを対象とした PCR 検査では、COVID-19 の活動性感染を十分に診断し得ないという事実を示しており、PCR 検査に加え、血清抗体検査を COVID-19 感染のスクリーニング検査に用いる必要性も示唆している。

要約作成者のコメント:

日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会の 3 学会は、去る 2020 年 6 月 2 日に「無症状の透析患者に対する SARS-CoV-2 の PCR 検査の適応基準」を提案し、公表している。具体的には、①透析室内(送迎の動線を含む)における感染者(透析患者および医療者等)との接触、および患者家族に感染者がいる場合、いわゆる濃厚接触と考えられる透析患者、②献腎移植が決定した移植待機中の透析患者、③その他、医師が検査すべきと判断した透析患者(例えば、疑診例との濃厚接触者)、に対して PCR 検査を実施することを勧めている。血液透析患者における比較的高い無症候性患者割合を示した本研究結果は、この適応基準を強く支持するものと考えられた。

要約作成者: テネシー大学ヘルスサイエンスセンター腎臓内科 住田 圭一